

親友

なま

なり
た

じ
や

The day that was not a close friend

R18

Tales of Zestiria
Unofficial Fanbook #02
MikleoxSorey



親友じゃ
なくなつた目

ED後ミクスレ話になります
※オリジナルモブ天族キャラが登場します

目が覚めて目の前に広がった世界は

オレが知っている世界で


だけどオレの知らない世界だった

正直戸惑いもあったけど

それでも孤独を感じなかったのは

お前が傍に居てくれたからだと思う






こんなところに
いたのか



スレイ



話し合いは
終わったのか？
ミクリオ

ああ。

それよりも
建物の中で待てと
言っただろう？



ごめん

以前より憑魔の数が減ってきたとはいえない

君はもう普通の人間なんだ

ただでさえ眠っていた反動で身体が脆くなっているって

なのに君ときたら目を離せば何処かへフラフラと…

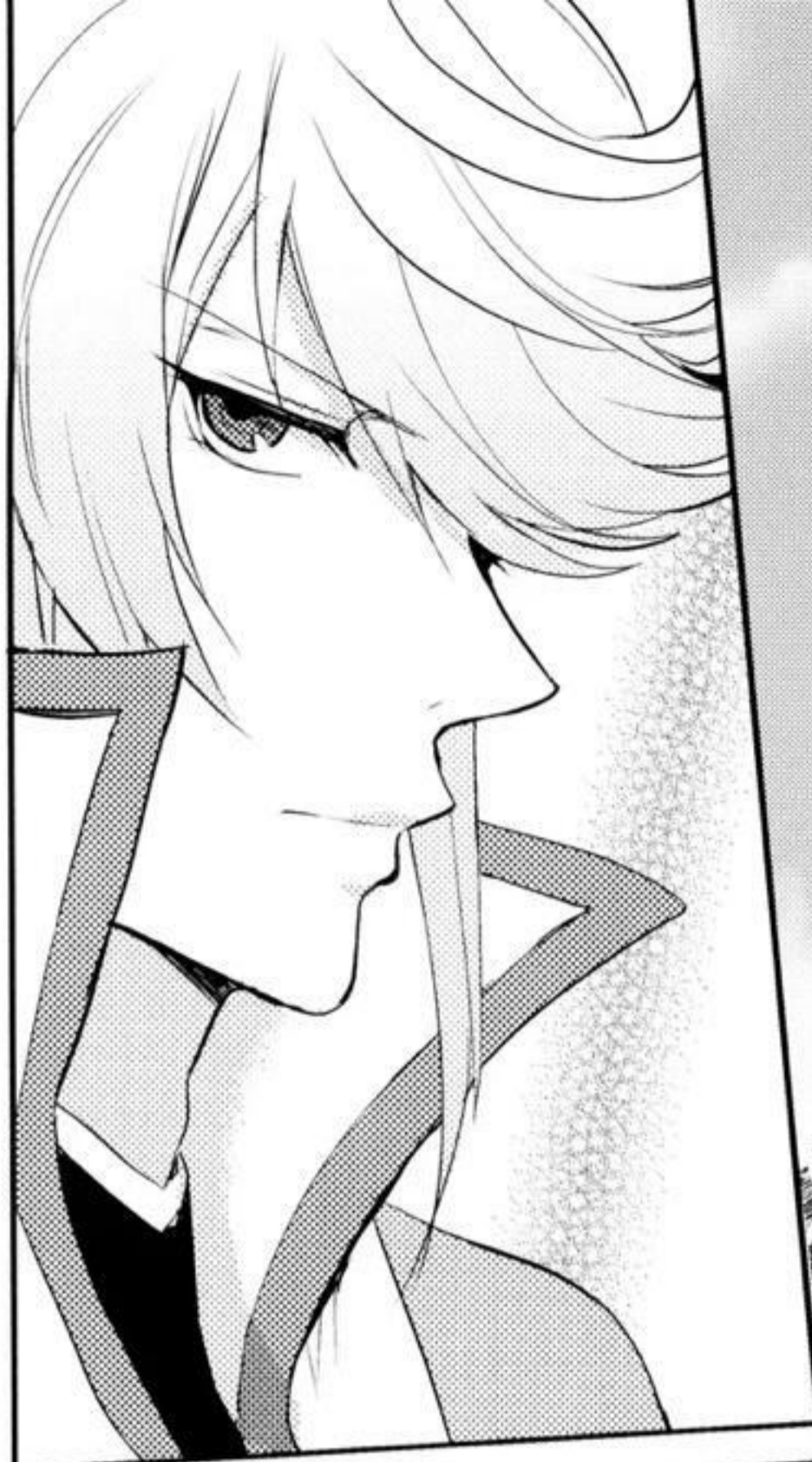
はいはい

どっどっ

心配かけたごめん

なんか重要そうな話合いだったからさ

オレ居ない方がいいかなーって



邪魔しちゃ悪いだろ？



あーっ



何するんだよ
ミクリオっ！



うるさい。

君がつまらないこと
言うからだ



君が同席することは
伝えてあると言ったはずだ

気を遣わせて
しまった事は
すまない

…けど

やっぱり君が心配なんだ



…もう急に
居なくならない
でくれ



ほら

…ん

辛気臭く
なってしまったな



スレイが読みたがってた本
受けとって来た

読読
むむ
!

…読むだろ?

でも夜更かしは
禁止だぞ

「そして人間は
天族を認識出来る
までになり」

「こうして人間と
天族は、互いに
手を取り合い、
生活するまでと
なった」



そうか……



はるなるほど……

「……までが人間と天族の共存の世界についての記述である。」

数百年前

オレは世界を救う為に

マオテラスと共に

永い眠りについた



昔一緒に闘ってきた仲間やオレの知っている人たちはもういないけど

ライラやエドナ、そしてザビドナ

みんなは喜んでオレを迎え入れてくれた

それに……

本当に……
スレイなのか？



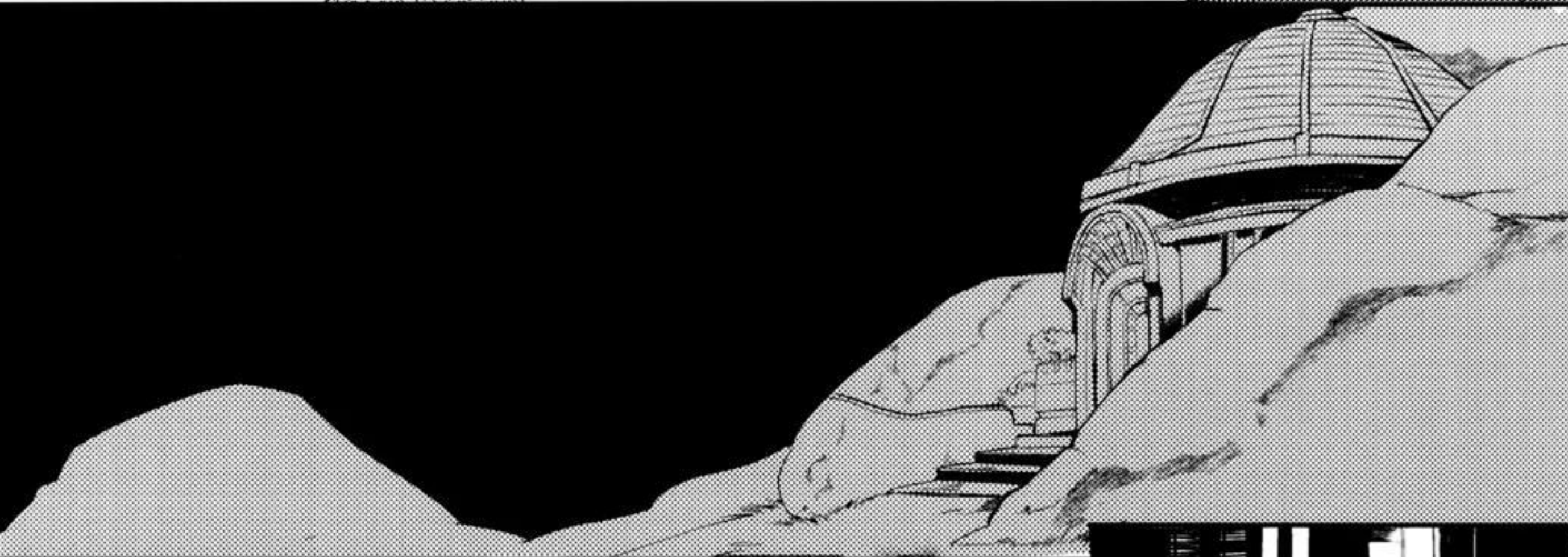
外見は変わっていたけど
オレを抱きしめてくれた腕が
ミクリオのものだと
すぐにわかった

変わってしまったものは
沢山あったけど

昔と変わらずに
大好きな遺跡や
この世界のことを
2人で語り合ってた

そんな何気ないことが
オレはとても嬉しかったんだ







く...

は...
は...



天族だつて
そついうこと
するよな

あれから
何百年も
経つてゐるんだ

ミクリオにも
好きな人が
できたつて
不思議じゃ...

ズキ...



い...
い...
い...

そつか...



な

な

!?

...あれ?

なんだ今の
ズキつて...

...イ...



スレイ……

はぁっ

はぁっ

はぁっ



なんだ 今の





スレイ……

がが……

……っ

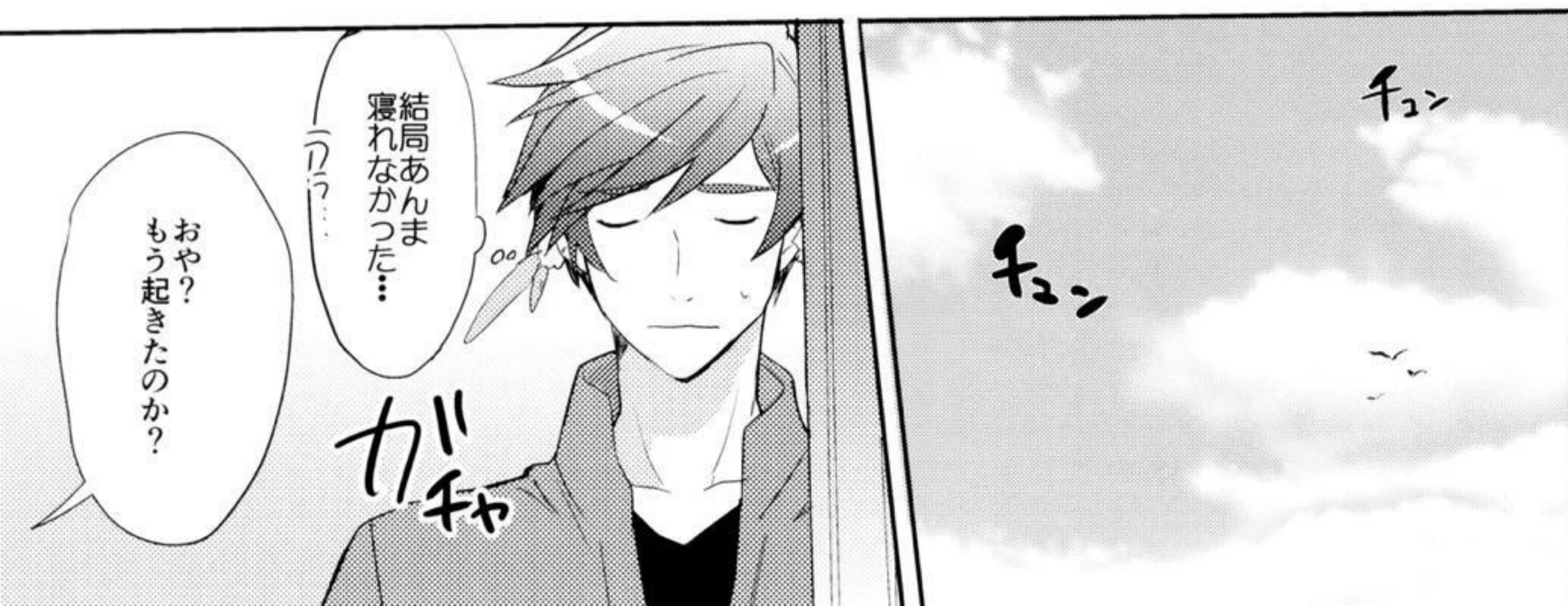
頭から声が

離れない



……

したらいんだよ……



フン

フン

結局あんま
寝れなかつた……

……

か
ちゃ

おや？
もう起きたのか？



めずらしいな
一人で早起き
するなんて

おはよう



…あ

お、おはよう…



君のことだから
遅くまで読書
してるかと思っただけ
けどね

あ、ああ…
そーなんだけど

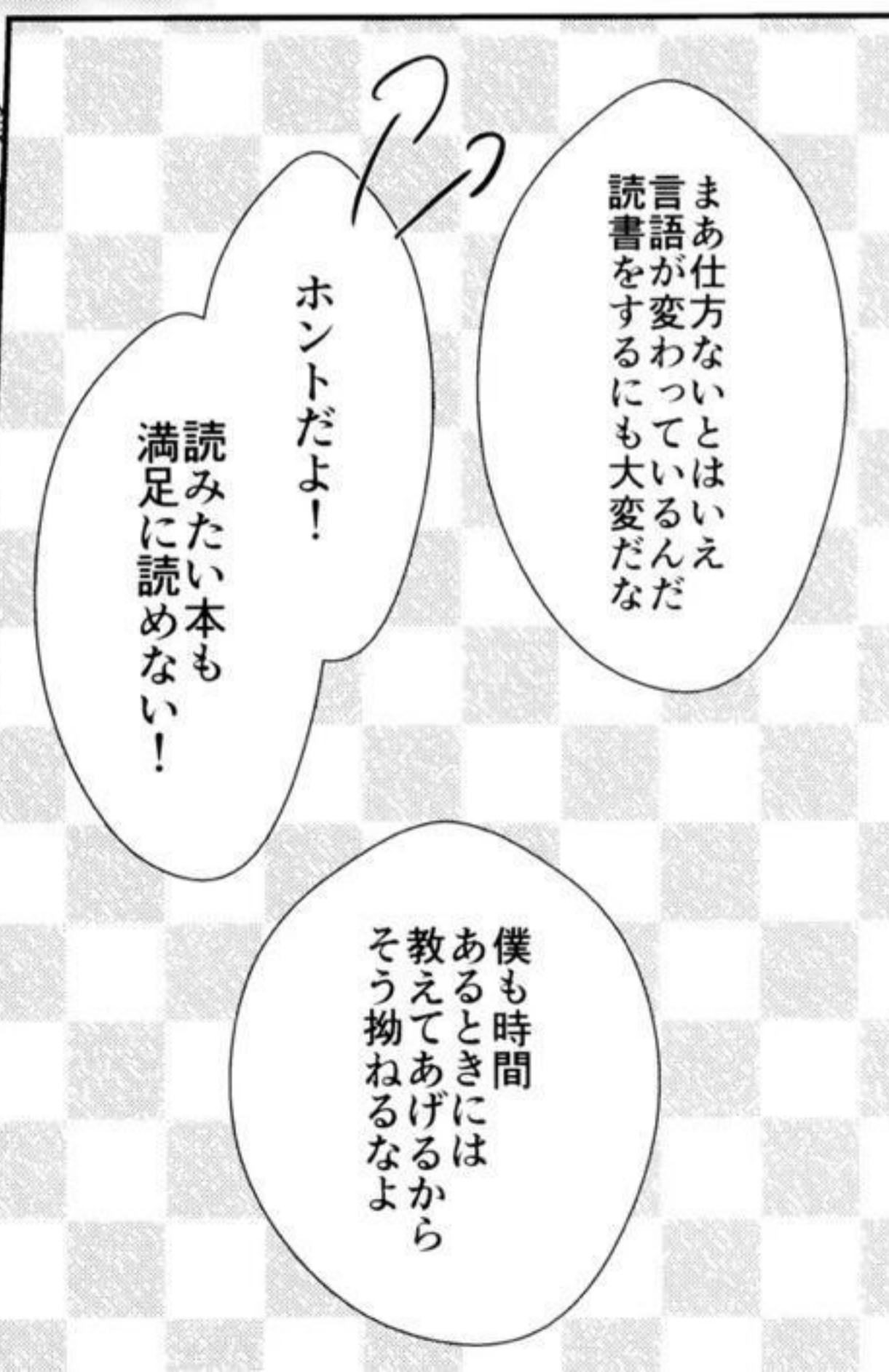
結局読めない
文字があったから
断念したよ

ははっ
なるほどね



頼むぞ翻訳機

昨日だって
お前に教えて
もらおうとしたのに
お前が…



まあ仕方ないとはいえ
言語が変わっているんだ
読書をするにも大変だな

ホントだよ！

読みたい本も
満足に読めない！

僕も時間
あるときには
教えてあげるから
そう拗ねるなよ



...君だったのか

...昨日物音がしたのは



あっ...

しっ



嘘

...見てない

全部見てたんだらう？

...違う



は



嘘じゃ

わあ

ない...っ！



...ごめん
嫌な思い
させた

...違う

違うんだ

：スレイ
ちゃんと話がしたい

時間をくれないか

ただちよこ

スレイ

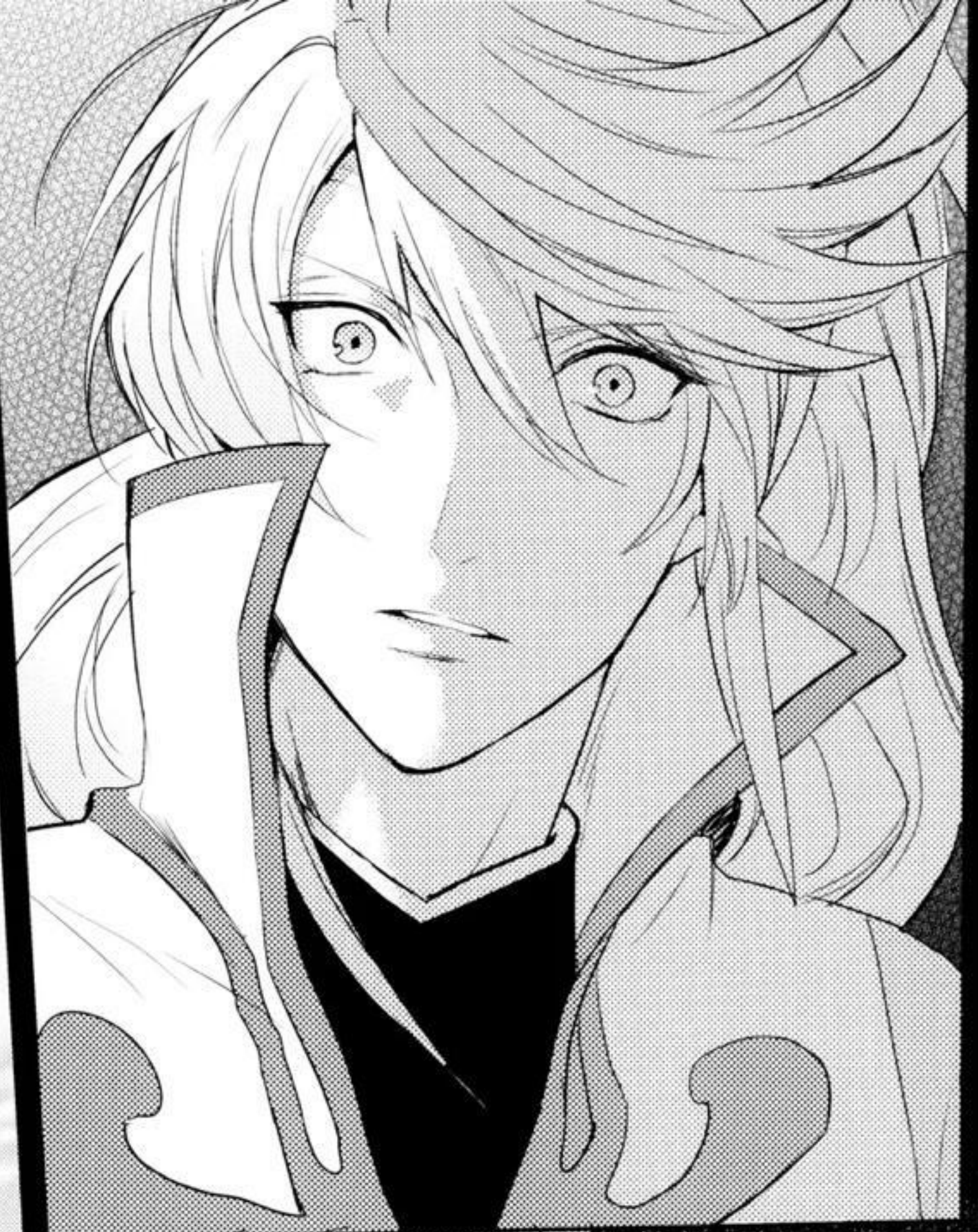
待ってくれ

混乱して
るだけで

スレイ!

お







ごめん

おん

…少し距離を置くよ



アハハハ

あ

傷付けた



お前ら喧嘩でもしたのか？

なんだ？

ミクリオのやつもなんかよそよそしかかったし



はあー

いつまで項垂れてるんだよ…



まあ…そんなところ…

ホントはただ顔合わせづらいだけだぞ…



はあー

ならちやっちやと謝って仲直りしていろ！

お前らがしみたれとこっちもかなわん！

わっ！



もう…エドの奴…おもいっきりたたかれた…

でもこのままじゃいけないのは確かだし

よし…ここは借りてた本を返してさげなく…

ミクリオ様みてみて！！





そっか

オレ

寂しいのが

一番オレが
あいつのこと
知ってるって
思ってたけど

違った

ついこの間まで
一緒に馬鹿やって
ジイジに怒られてたのに

もうオレの知らない
ミクリオなんだ…

本…

返しそびれたな

流石に
借りたままは
悪いよなあ…



留守か…

ミクリオは…

ヒキッ



本棚に戻して
いいよな?

…しかしすごい
量の本だな



直接返すのが難しいなら
部屋に戻しておけば…



…



ん?

あ、あれ?

ちよ、
入らな…

ぬ



本一冊返すくらいで
コソコソして

他人と接する
みたいに

こんな調子で
ミクリオと
過ごさなくちゃ
いけないのか？

「そのままだよ...」

「...あー...」

「そのまま？」

いやだ

そんなの

ちやんと話をしなまじや

ミクのオ

オレは……





寝てる…のか？

…ミクリオ



あの…
オレさ…

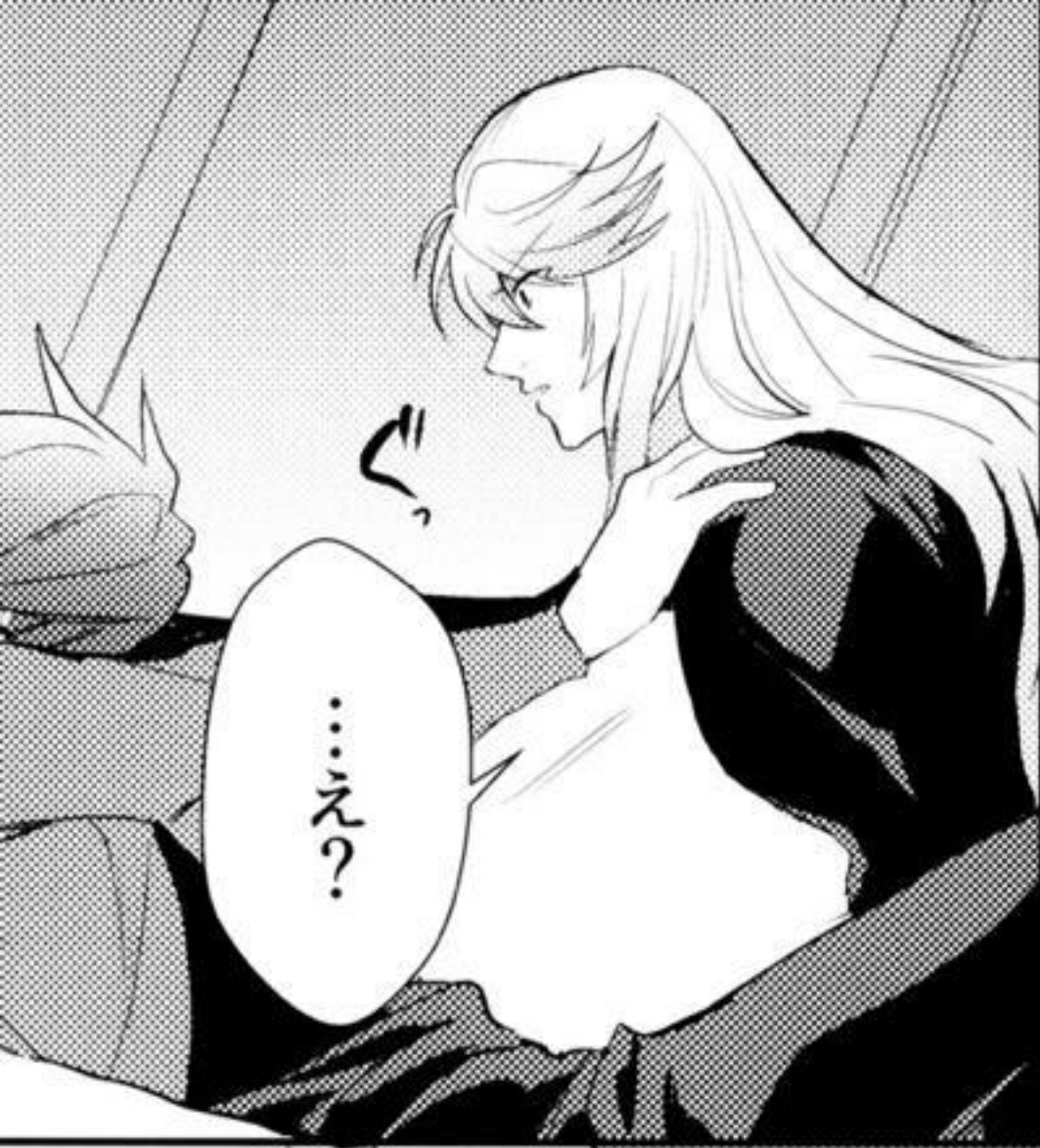
…ミクリオ

寝てるか…



ミクリオ
お前起きて……!

っ!
!



...え?

...ふふ



...



でもオレは...

戸惑いがないと
言ったら
嘘になる

：お前が
オレの事
そういう目で
見てることは
分かった



そのせいで
お前と一緒に
居れなくなる
事の方が嫌なんだ

だから

...ふ



なん...だよ

それ...



ふざけるな！

はつきり言ったら
どうなんだ

気持ち悪いって
言えよ！！


それだけの理由で
君は男に身体を
許すのか？

どこまで
お人好しなんだよ

そうすれば

そうすれば
僕は……！

……ミクリオ
もういいから



そんな顔するなよ…



…好きだ

好きだ…っ

好きだ
スレイ

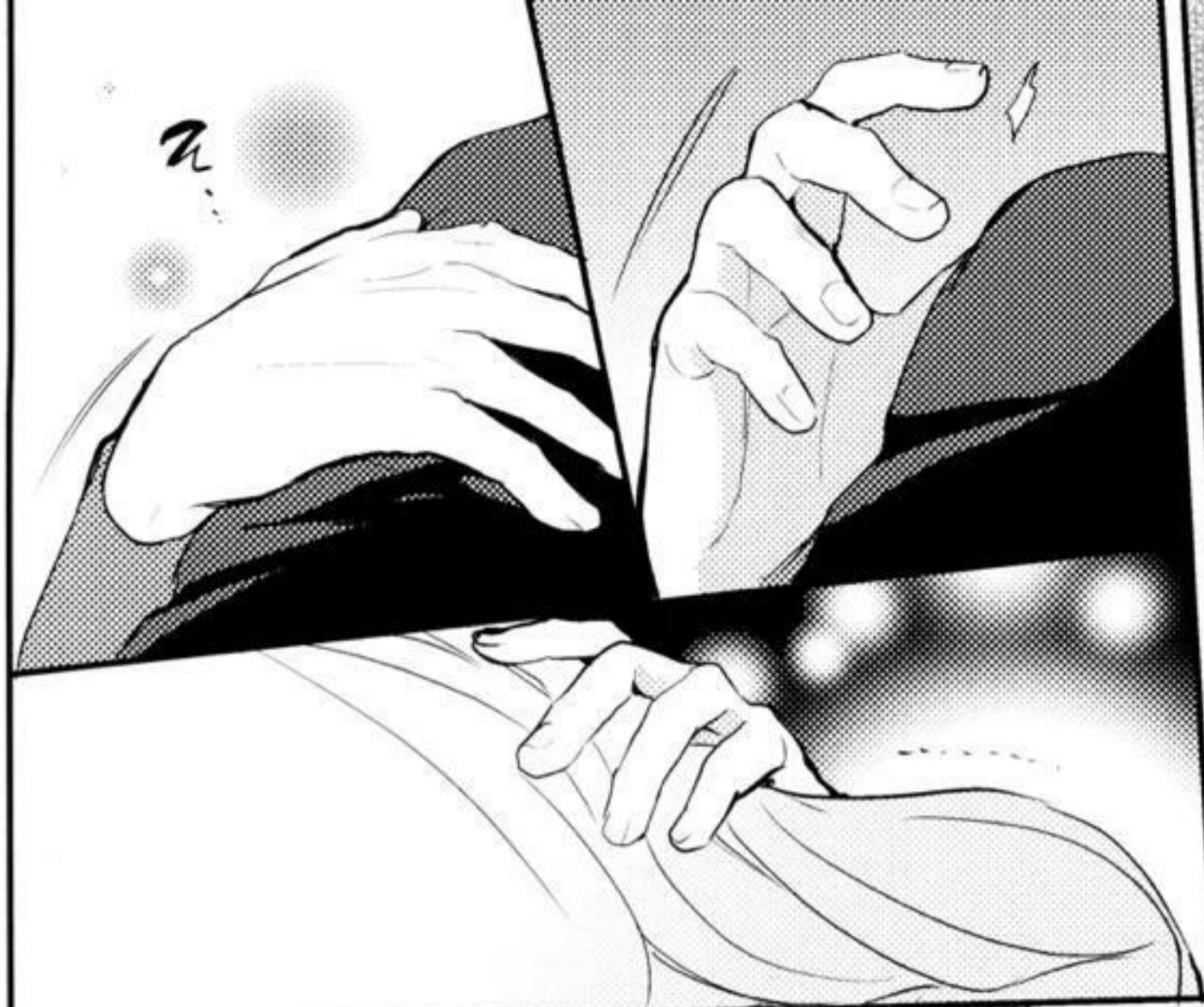
好きなんだよ…!



!

好きだ

ミク…



…好きになって

…震えている

…変だな

さっきまであんなに
お前が遠かったのに

オレを抱きしめる腕が
あまりにも頼りなくて

でもそれが
どうしようもなく
いとしくて……

いめん……



ミクリオ

オレ……



スレイ?



……ちわって



スレ……





…今でもこれでいいのか…
…正直わからない

けど

…はは

すっげー
バクバク
してるだろ

ほら

かっこわる…

このままで
居るより
ずっといい

教えて
ミクリオ

キヤ…



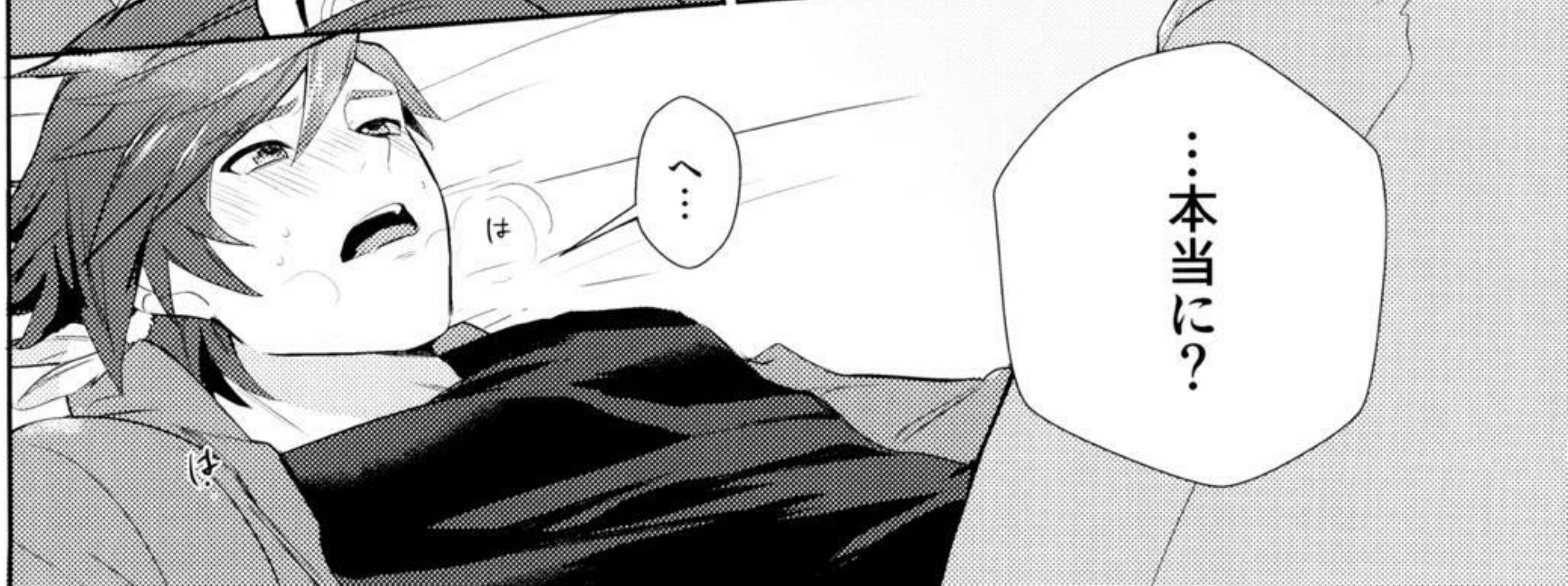
オレが知らない
お前を知りたい

大丈夫だ

ずっとオレを
待っててくれた
お前だから

どんなことがあっても
きつと後悔しないさ

だから…





本当に

嫌にならない?

嫌なら突き放してくれ...

...頼む

あ...



…力抜いてて

…え…?
なん、で…



…スレイ知ってるか?
男が気持ちよくなれる
場所があるって

まあ僕もよく
わかってないん
だけど…



あつ…!
な

うあり!!



なに、
や
そこ、
あつ



すまない
…ちよつと
我慢してほしい

は…
流石にきついか

は
ふうふう…!



前も触って
あげるから...っ

あっ

だめ、だ



よくできました

...かな





オレもやるこー!

ちよっ

スレイ!?

うわっ!

はは...お前だって
勃ってんじや...

オレばかり
恥ずかしいのは
不公平だからなっ



.....
デカイ

.....
はあ...

好きな奴に
触れてたら
こうなるに
決まってるだろ

とうか
スレイは
そんなこと
しなくていい
どこれ



はっ

.....
やるったらやる

負けず嫌いめ

無理しなくて
いいからな

ん...

は...



き、気持ちよく
なかったか？

いや違う

こうしたくて…ね



…っ！
ミクリオ！
なんだよこの
体勢…！！

やられっぱなしは
性に合わないからね

それにこれなら
お互い気持ちよく
なれるだろ？



あ…っ！



やり返して

ほら







はあっ...

はっ

はっ

はっ

はっ...はっ...はっ...

は...

は...

はっ

...

いめ.....



はっ

はっ

.....



あ...

先...
いつちやった.....

はっ



はっ

はっ





全部

入ったよ...



...

ホントに...?

ああ...

凄い...
気持ちいいよ...



きついけど...
なんかすごい

達成感...



あ...

ナカで

ピクピクして...



ミミク...

オレ、ちゃんと
お前を...



ぜんぶ...

んむう...



……っ

はは…

やっぱりオレ
男でよかった
かも…

スレイ?



こんなおっきいの
まともに受け入れ
られてたかなあ…



オレ…女の子
だったら

ずっと君を…

僕はずっと

好きだ

あ、

あ、

あ、



気持ちいい?

そうか...

あぁ...

なら

もつと教えてあげなくちゃね...

知らない

そんなの

わからな...

んうう...!!

あぁ...
あぁ...

くぁ...!!



こんなの

やめ

やめえ...

だめだ

スレイ...
ごめん...

うせせせせ...



あ...

ああ...

なんだよ
これ...



止められない...

あっ!

あっ

頭が
グラグラする

あううう...!

怖い...

自分が
自分じゃ
なくなる





スレイ...っ!

アッ...

アッ...
アッ...
アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...



はあ...

はあ...

はあ...



...

かは...

あ...

ああ...



君が欲しいんだ...

もっ...

足りない

ミクリオ?

スレイもっ...

君への想いを
抱えて

僕は一生を
終えるのだと
思っていたよ



誰にも
言わないで？

ああ

…そんなの
つらいだろ

…覚悟は
していたさ

…いつから
一人で？



さあ……

いつからだろうな……



……ごめん

もう一人で
考えなくて
いいだろ？

✠

……



…スレイ

な!



馬鹿

これ以上
好きにさせて
どうする

…ん?
ほっ



…まったく
君には
かなわないな

おっ
惚れ直した?

…ふふ



あ!

キ



はじめまして、よもぎと申します。

ここまでお読みいただきましてありがとうございます。

1冊目から一年ちょっと、ようやくミクスレ本個人誌2冊目です。2冊目エ…

1冊目がミクスレの初えっちでしたので2冊目は絶対エビスレの初めてのえっちや!!!と思って描きはじめました。エビスレの初えっちとか尊すぎて考えただけで無理でした(アへ顔)

あーでもないこーでもない書き直しの日々が続きようやく形にすることができて嬉しいです

あとどうでもいいですが1冊目が締切の関係でスケベをごっそりカットしてしまったのでリベンジもかねてがんばりました

でも一言いいですか 精神ババアにはスケベシーンはきつい

冷静になってみるとホモにどれだけ真面目になってるんだよと我に返ったりなかったり でも好きだからしょうがない…いや楽しかったです

所詮二次創作なので2人がこういうこと言うのかどうかはアレですが自分なりに2人の距離感を大切に描いたつもりです。

自分が知っている親友なのに、でもやっぱり知らない親友の一面に戸惑うスレイくんと、スレイくんへの想いを何百年も拗らせて臆病になってしまうエビリオさん 好きです

でもいつだって手を差し出してくれるのはスレイくんだと思っています
エビリオさん…幸せにおなり…

拙い話ですが少しでも私のミクスレへの愛が伝わっていれば幸いです
それではまた機会があればお会いできればと思います
ありがとうございました!

Special Thanks!
はまけん
夜遅くまでありがとう
ありがとうごさいます!



親友じゃなくなった日

発行日 2017/03/12

発行者 abandonne よもぎ

印刷 栄光様

address mkism0911@gmail.com

twitter @omaru_y

【禁止】 無断転載/ネットオークション/アプリ等での出品

